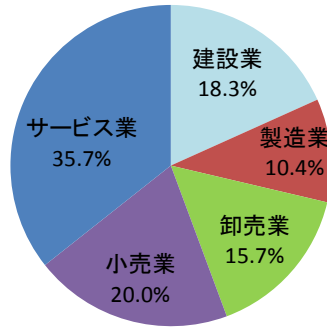


弘前地域企業短期景況観測調査（10月～12月期分）結果報告

【調査概要】

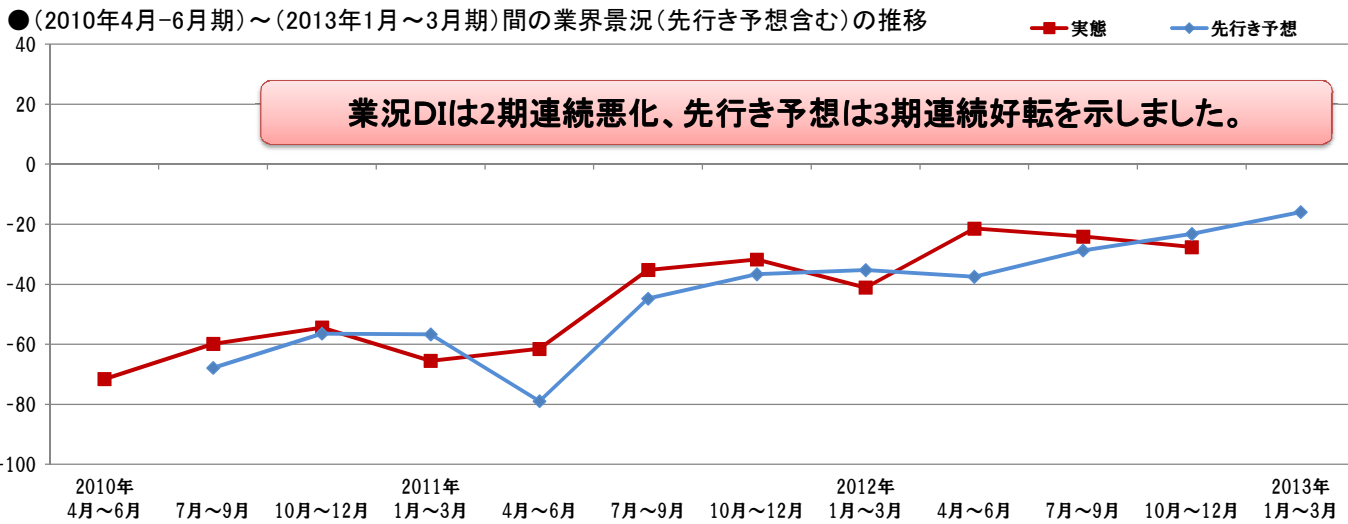
- 1) 調査対象企業：弘前商工会議所議員、部会役員、小規模企業振興委員
旅館・ホテル組合役員、石油卸売業の各企業
- 2) 調査対象期間：2012年10月～12月期
- 3) 調査時期、方法：2013年1月4日 調査票発送（FAX）
2013年1月15日 調査票回収締め切り（FAX）
- 4) 回答率：41.4%（回答企業数88企業／調査企業数213企業）
- 5) 回答企業の業種割合：（右の円グラフをご参照ください。）



※DI値とは、（増加・好転など「良い」の回答割合）から（減少・悪化など「悪い」の回答割合）を減算して計算される景況判断指数です。

プラスの値は景気の上向きの傾向を、マイナスの値は下向きの傾向を示し、強気・弱気などの景気感を数値化したものです。

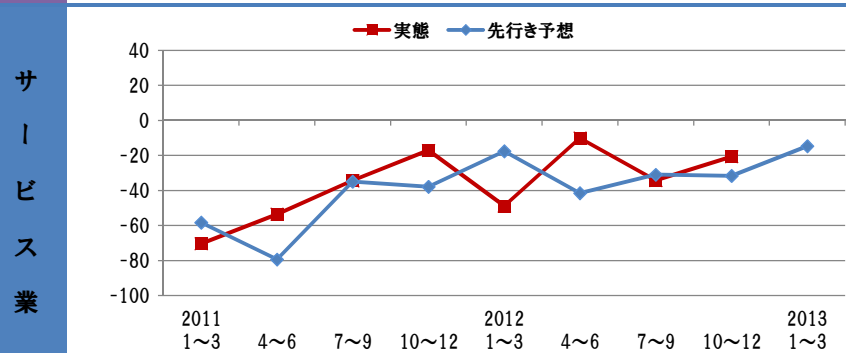
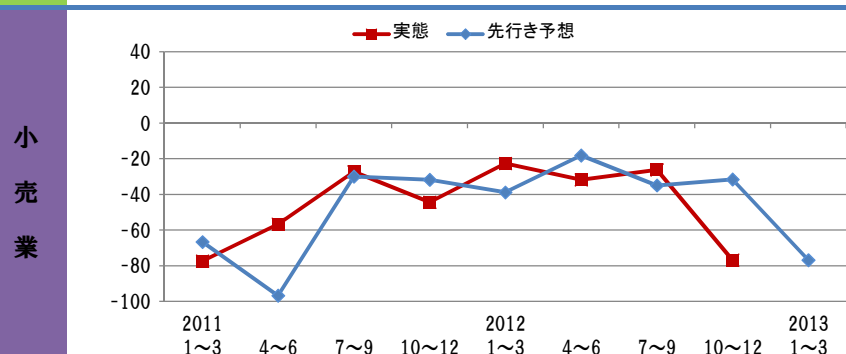
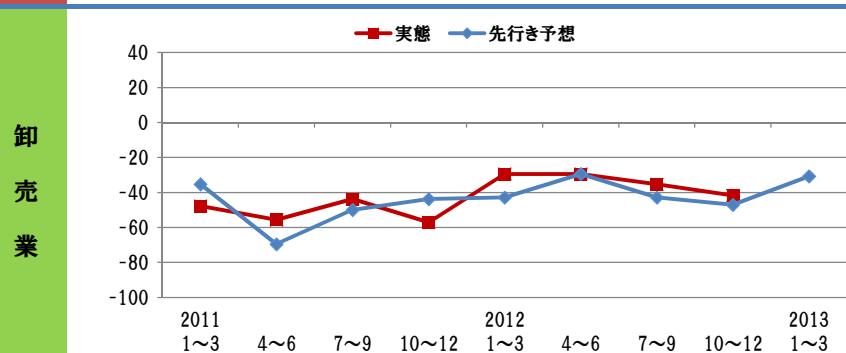
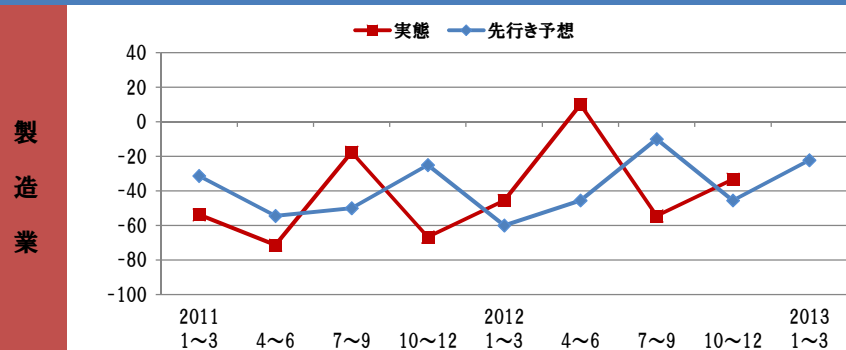
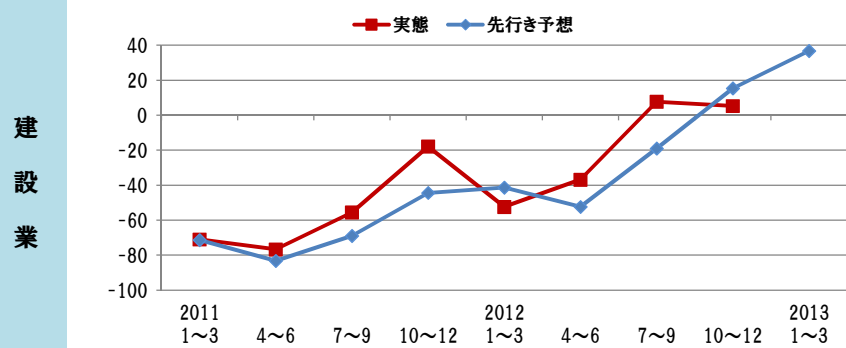
【地域企業の景況DI】



◆弘前地域の景況は、全産業合計のDI（前年同期比ベース）が前回調査（7～9月期：▲25.2）よりマイナス幅が2.4ポイント拡大して▲27.6となりました。

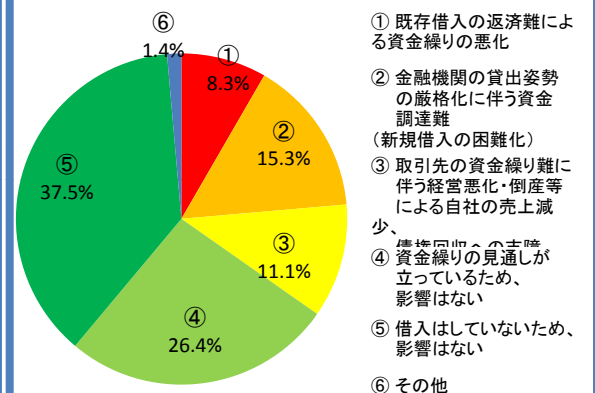
◆先行き予想（1～3月期）については、前回調査（10～12月期：▲24.3）よりマイナス幅が8.4ポイント縮小して▲15.9となりました。

（地域企業の業種別景況DI）



【付帯調査】

1) 中小企業金融円滑化法の期限切れに伴う企業への影響について（複数回答可）



2) 2012年における地域経済、企業にとって影響の大きかった出来事

- ◆ 政権交代
 - ◆ 人材不足
 - ◆ 円高、デフレ
 - ◆ 東日本大震災、原発事故の影響
- 裏面「地域企業の課題」をご参照ください。

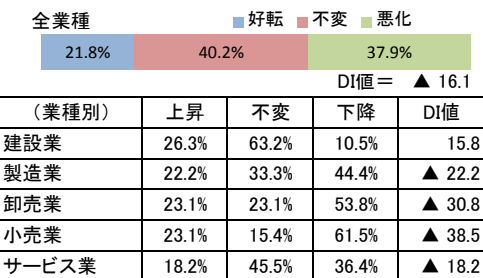
■ 地域企業の声 ■

- ・ 新政権に経済活性化のための一層の公共投資、金融緩和等を期待する（建設業、製造業、卸売業、小売業、サービス業）
- ・ 原材料価格高騰による採算悪化により厳しい経営を強いられている。今後の公共料金値上げ等によりさらに厳しくなると予想される。（建設業、製造業、卸売業）
- ・ 長引く経済の低迷により雇用を制限してきた結果として、現場では技術者、技能工等が著しく高齢化、人材不足の状況になっている。（建設業、製造業、サービス業）
- ・ 地域企業の社員の人材育成、スキルアップのための教育機関が必要。（卸売業、小売業、サービス業）
- ・ イベント（四大まつり）に傾注しない通年観光対策事業による観光客誘致活動の活性化を更に推進していただきたい。（小売業、サービス業）
- ・ 弘前は県内他市に比べれば、「元気な街」だと思っています。さらなる活性化を期待しております。（製造業、卸売業、小売業、サービス業）

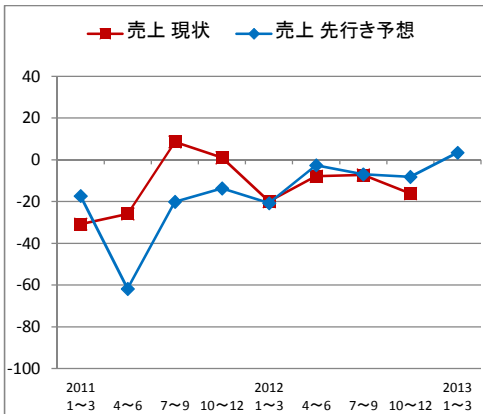
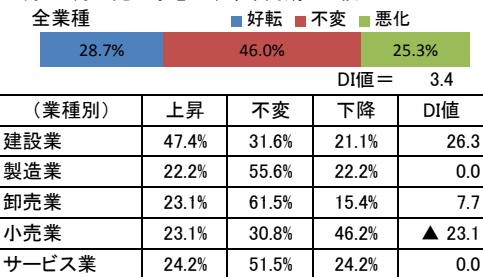
■景況動向調査

1) 売上DI

・10月～12月の売上は、昨年同期と比較して

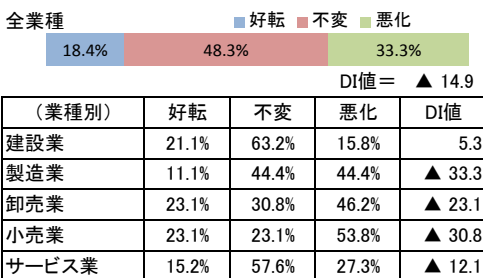


・1月～3月の売上予想は、昨年同期と比較して

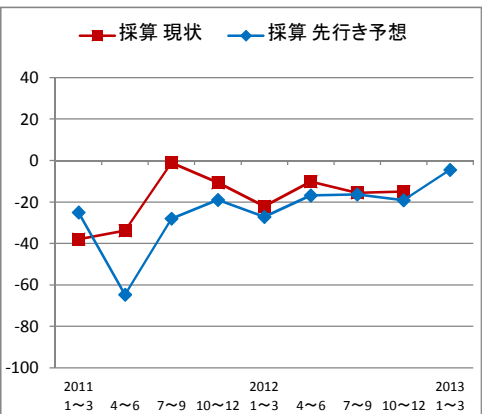
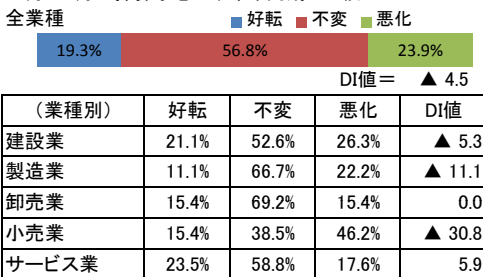


2) 採算DI

・10月～12月の採算は、昨年同期と比較して

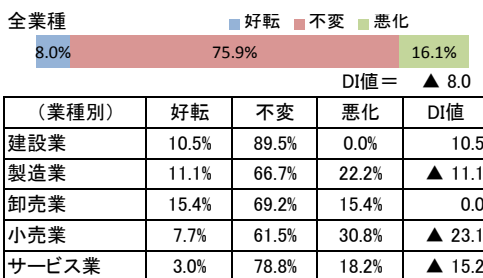


・1月～3月の採算予想は、昨年同期と比較して

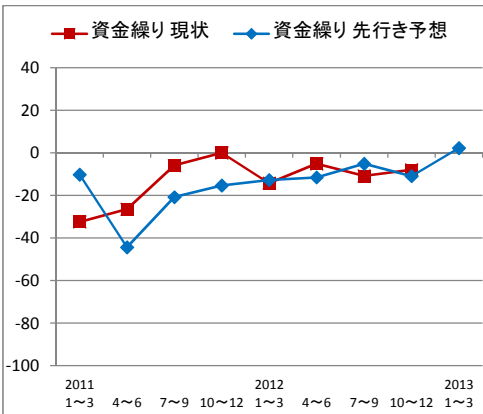
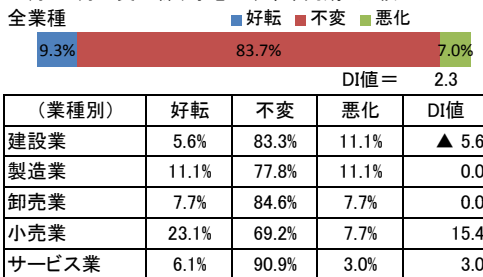


3) 資金繰りDI

・10月～12月の資金繰りは、昨年同期と比較して

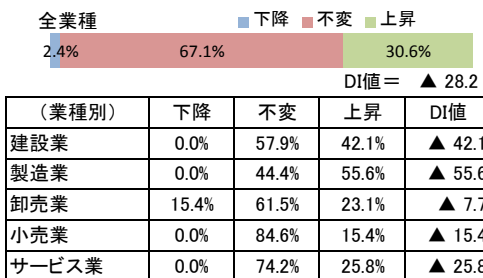


・1月～3月の資金繰り予想は、昨年同期と比較して

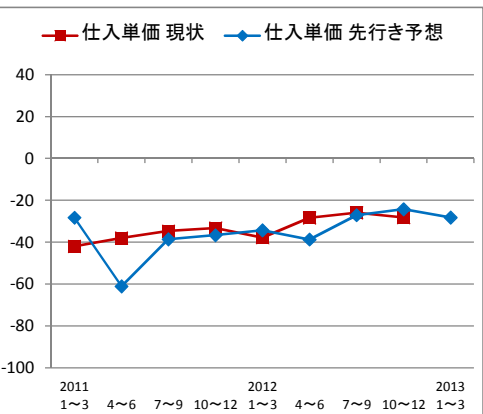
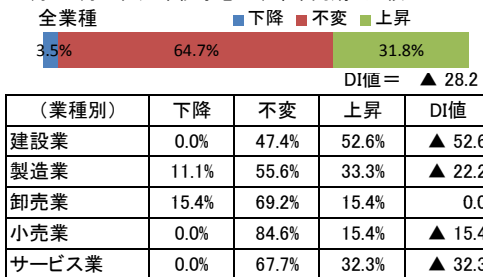


4) 仕入単価DI

・10月～12月の仕入単価は、昨年同期と比較して

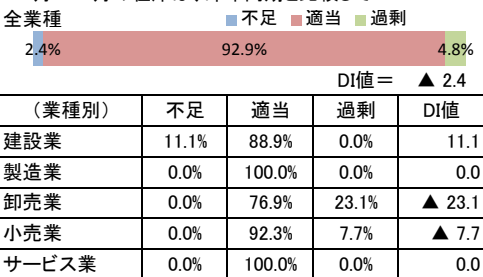


・1月～3月の仕入単価予想は、昨年同期と比較して

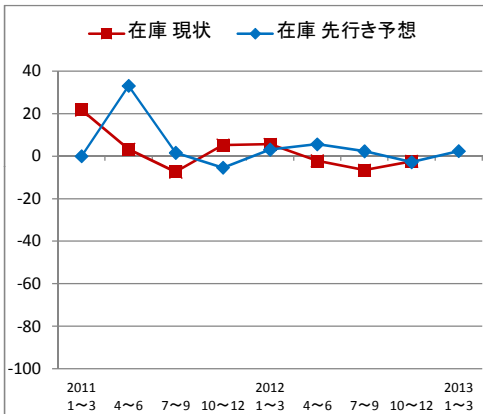
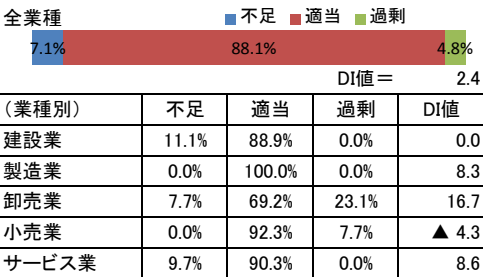


5) 在庫DI

・10月～12月の在庫は、昨年同期と比較して

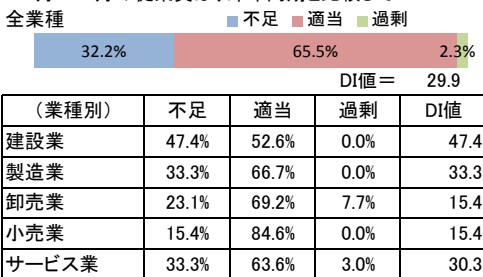


・1月～3月の在庫予想は、昨年同期と比較して

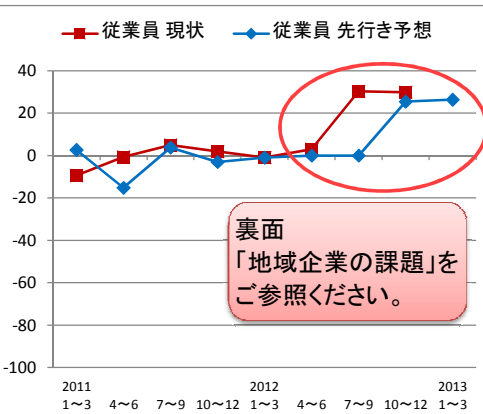
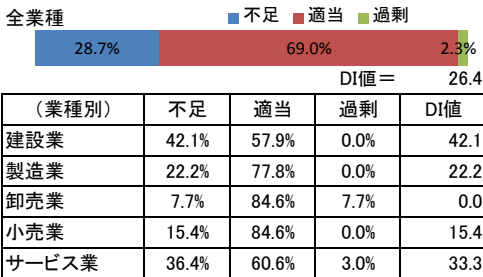


6) 従業員DI

・10月～12月の従業員は、昨年同期と比較して

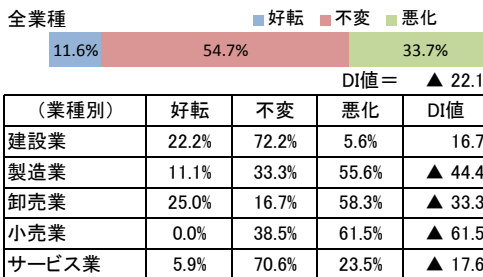


・1月～3月の従業員予想は、昨年同期と比較して

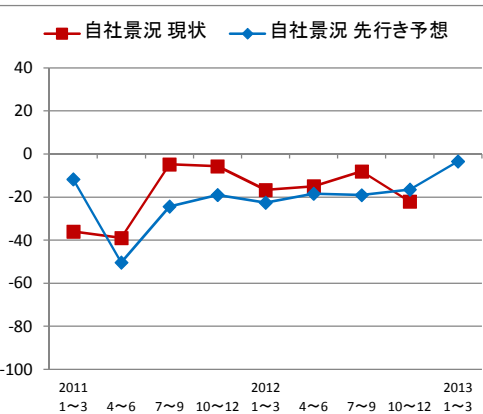
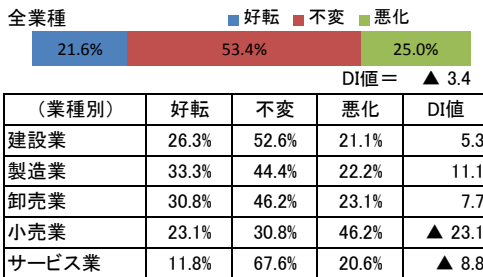


7) 自社景況DI

・10月～12月の自社景況は、昨年同期と比較して

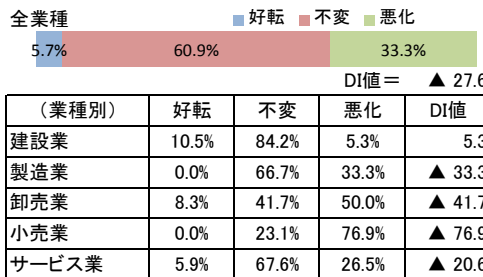


・1月～3月の自社景況予想は、昨年同期と比較して

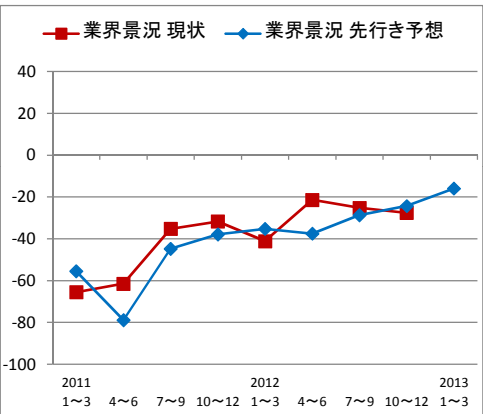
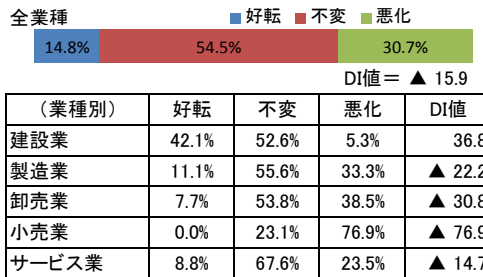


8) 業界景況DI

・10月～12月の業界景況は、昨年同期と比較して

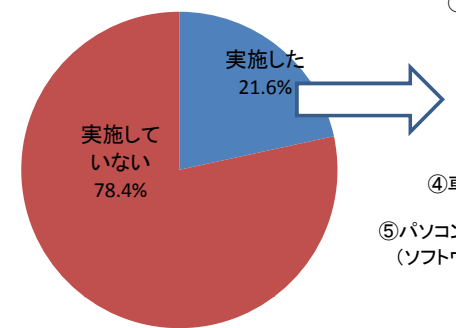


・1月～3月の業界景況予想は、昨年同期と比較して

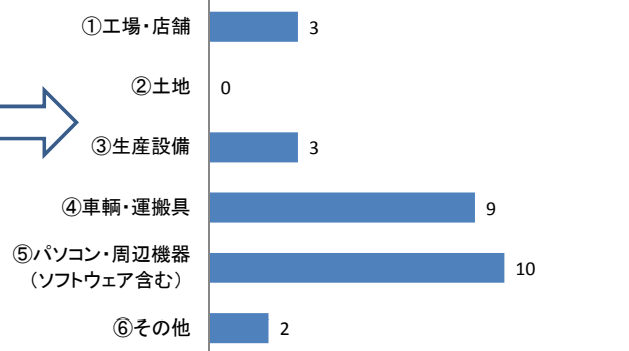


【設備投資動向について】

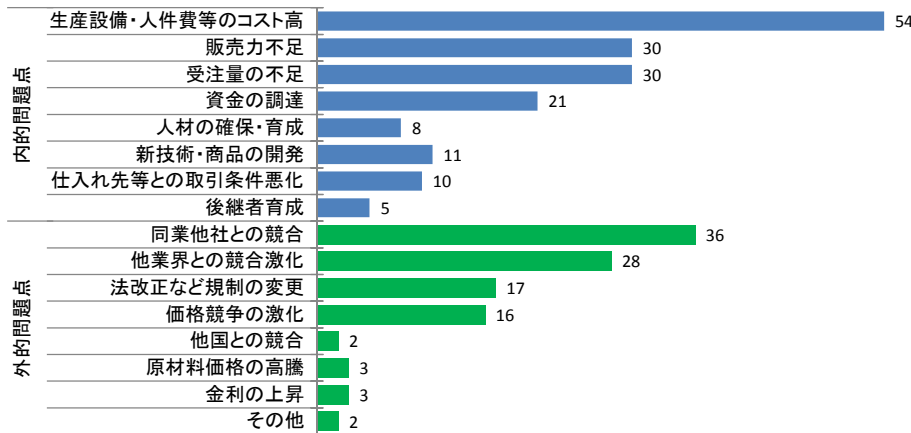
1) 10月～12月の間に設備投資を (実施した/実施していない)



2) 設備投資の内容について (複数回答可)



【経営上の問題点について(複数回答可)】



調査データにつきましては、当所ホームページ (<http://www.hcci.or.jp>) > 調査研究 > 調査刊行物からダウンロードいただけます。
 本件担当：弘前商工会議所 情報調査課 TEL 0172-33-4111 FAX 0172-35-1877

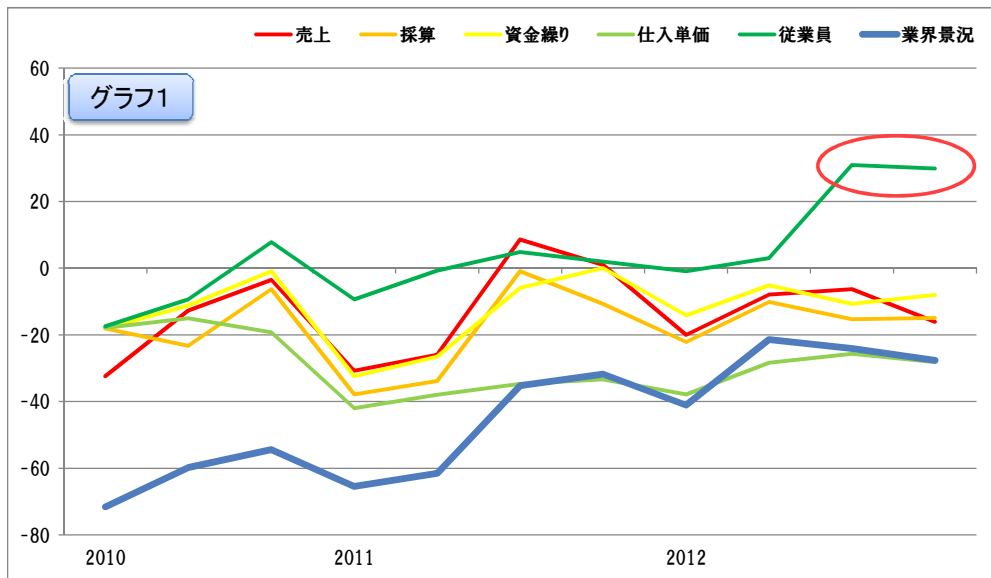
◆弘前地域企業の課題 = 人材不足

弘前地域企業の課題として「人材不足」があげられます。下図(グラフ1参照=調査項目別比較)では「従業員は不足している」状況が常に高い位置で推移し、特に直近の2期間の調査結果では突出してきております。

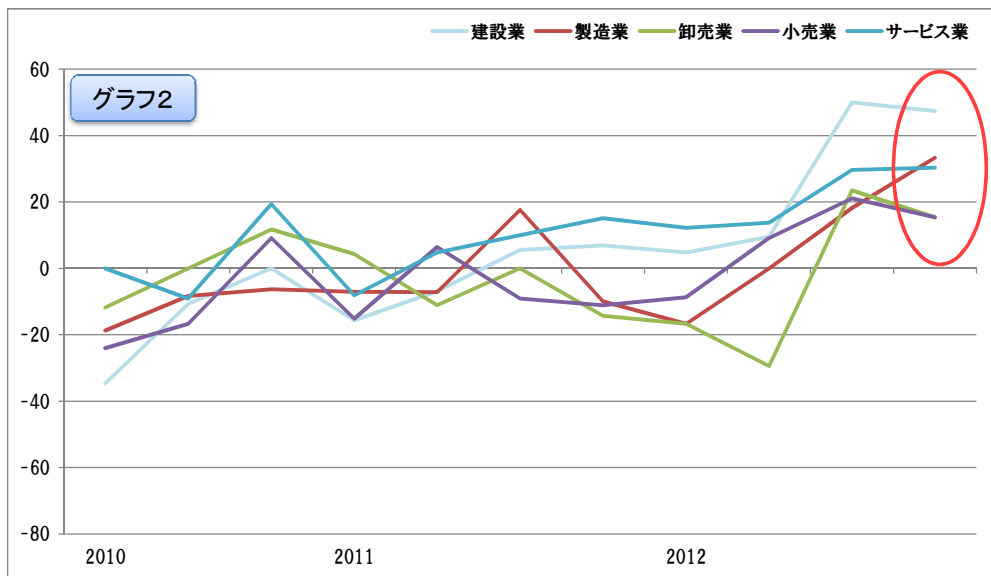
また、全業種において「従業員は不足している」との結果を示しておりますが、下図(グラフ2参照=従業員調査の業種別比較)では、DIの高い順位は建設業(47.4)、製造業(33.3)、サービス業(30.3)、卸・小売業(15.4)の順となっております。

全国の商工会議所を調査対象として実施されている、LOBO(早期景気観測)調査でも同様の結果(下図 グラフ3参照=調査項目別比較)を示しています。

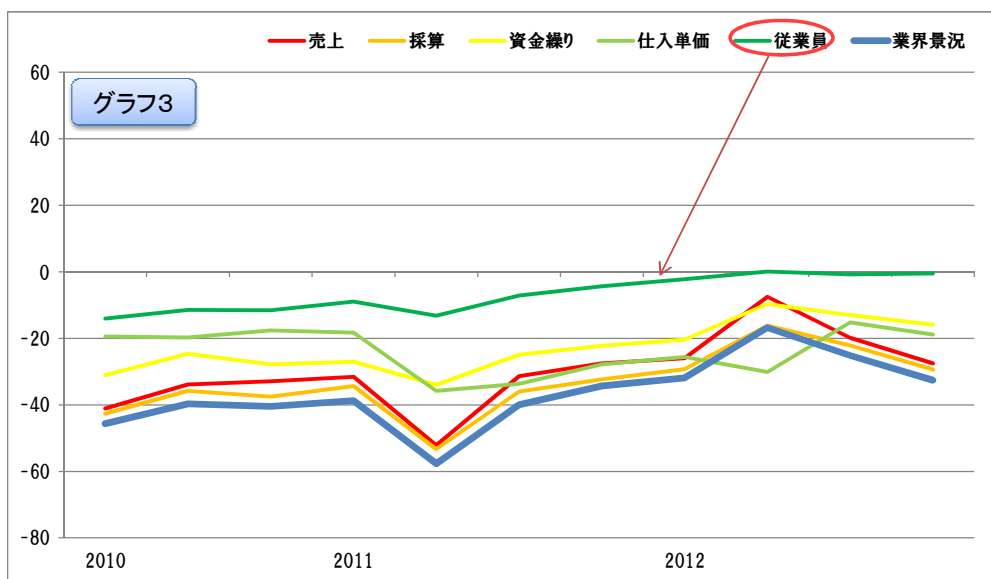
・(2010年4月-6月期)～(2012年10月-12月期)のDI推移【調査項目別比較】



・(2010年4月-6月期)～(2012年10月-12月期)のDI推移【従業員調査の業種別比較】



・(2010年4月-6月期)～(2012年10月-12月期)のDI推移【日商LOBO調査 調査項目別比較】



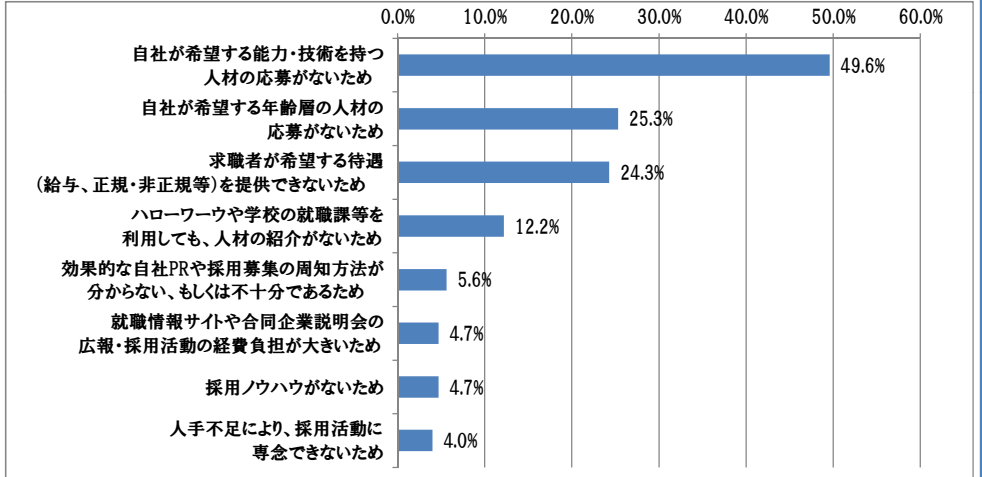
【参考資料】

日本商工会議所 LOBO(早期景気観測)調査より

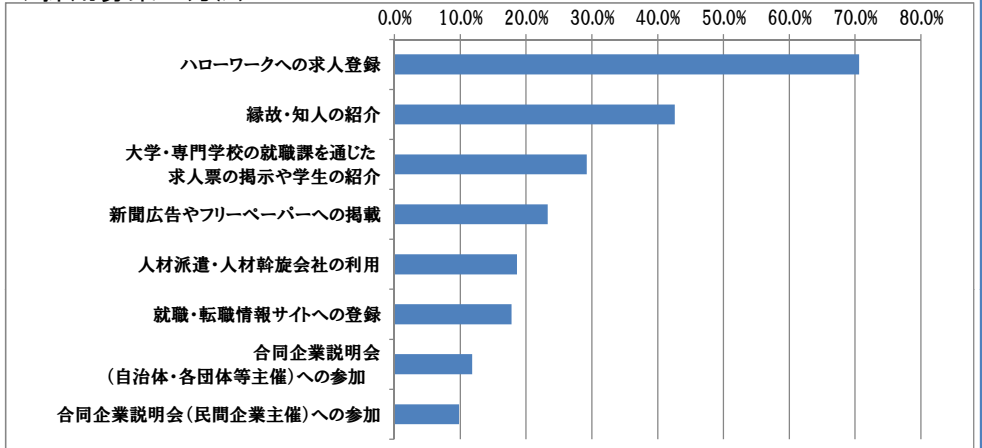
◆中小企業における人材活用活動の現状

希望する人員の採用ができない理由は、「希望する能力・技術の人材の応募がない」(49.6%)、「希望する年齢層の人材の応募がない」(25.3%)、「求職者の希望する待遇(給与、世紀・非正規等)を提供できない」(24.3%)といった求人・求職者間のミスマッチが大半を占める。また、「ハローワークや学校の就職課等を利用して、人材の紹介がない」(12.2%)という問題のほか、採用活動の経費負担や採用ノウハウの不足といった自社内の制約があげられた。

◆希望する人員の採用ができない理由



◆採用募集の方法について



【各地の中小企業の声】

〔()内は商工会議所名 業種〕

- ◆ 地元では、新卒の薬剤師の採用が困難、関東圏や中途採用者で対応 (富山 医薬品製造業)
- ◆ 学生の人気は製造業に集中している。飲食等のサービス業には人が集まらない (中野 レストラン)
- ◆ ハローワークを通じて1名採用することができたが、通信設備関連の技術者は人材不足の状況が続いている (東京 電気通信工業)
- ◆ 大学の研究室を訪問したり、大手就職・転職情報サイトを活用して募集をしているが希望する人材は集まらない (東京 計量測定機器製造用)
- ◆ 土・日出勤や早番・遅番等の勤務時間により流通業界の人気は低く、人員が集まらない (川崎 百貨店)
- ◆ 技能工が不足していることに加え、東京などの賃金水準の高い地域に人材が集中していることから、確保が困難 (小田原箱根 一般工事業)
- ◆ 優秀な技術者は、大手に流れており、中小企業での採用は難しく、人手不足が続いている。 (静岡 油圧・空圧関連機器製造業)
- ◆ 技術者の高齢化が進み、若い人材が必要になっているが、技術職の応募が少ない応募があっても基本から指導していく人材が不足しており、思うように育成ができない (姫路 鉄工所)
- ◆ 縫製の経験者・技術者は募集をしても応募がない。就職訓練校にも求人への依頼をしているが採用には至っていない (今治 織物製造業)

話のネタ帳

◆Q & A

Q : 「話のタネ・話のネタ」、「寿司のタネ・天ぷらのタネ」、「漫才のタネ・手品のタネ」、「タネあかし・ネタばらし」etc. なんかつ法則でもあるのでしょうか?

A : 元々はタネが正解。江戸っ子の言葉遊びでネタと言うようになりました。芸能界でも言葉をひっくり返したり、略して言うことがよくあるそうです。

◆クイズ : 口の中に漢字を入れて二文字の熟語を完成させてください。

ヒント : 本件担当は、

同 吉 好 監 日
根 熱 予 告 体 剤 検 察 賦 題
緒 道 和 定 税 でした。

◆話材 ・ おかげ横丁 (間違い等がありましたら、おらかな気持ちでご容赦ください)



三重県伊勢市といえば伊勢神宮があまりにも有名ですが、内宮の門前町「おはらい町」の中ほどで、「お伊勢さん(伊勢神宮)のおかげで商売繁盛」という感謝の気持を持って、平成5年7月に誕生させた街が「おかげ横丁」です。いわゆるテーマパークではないので入場料といったものはありません。約2700坪の敷地内には、江戸から明治にかけての伊勢路の代表的な建築物が移築・再現され、この地方の魅力が凝縮されており、三重の老舗の味、名産品、歴史、風習、人情まで、一度に体感できるそうです。(参考) <http://www.okageyokocho.co.jp/>

■邦人人質事件(省略)

■はじめに

(省略)

危機的な状況にあるわが国の現状を正していくために、なさなければならない使命があると信じるからです。

デフレと円高の泥沼から抜け出せず、50兆円とも言われる莫大な国民の所得と産業の競争力が失われ、どれだけ真面目に働いても暮らしが良くなならない、日本経済の危機。

32万人近くにも及ぶ方々が住み慣れた故郷に戻れないまま、遅々として進んでいない、東日本大震災からの復興の危機。

外交政策の基軸が揺らぎ、その足元を見透かすかのように、わが国固有の領土・領海・領空や主権に対する挑発が続く、外交・安全保障の危機。

そして、国の未来を担う子どもたちの中で陰湿ないじめが相次ぎ、この国の歴史や伝統への誇りを失い、世界に伍していくべき学力の低下が危惧される、教育の危機。

(省略)

内閣発足に当たって、私は全ての閣僚に「経済再生」「震災復興」「危機管理」に全力を挙げるよう一斉に指示をいたしました。危機の突破は、全閣僚が一丸となって取り組むべき仕事です。

(省略)

■経済再生

わが国にとって最大かつ喫緊の課題は、経済の再生です。

私がなぜ、数ある課題のうち経済の再生に最もこだわるのか。それは、長引くデフレや円高が、「頑張る人は報われる」という社会の信頼の基盤を根底から揺るがしているからです。

(省略)

大胆な金融政策、機動的な財政政策、そして民間投資を喚起する成長戦略という「3本の矢」で、経済再生を推し進めます。

(省略)

最も大切なのは、未知の領域に果敢に挑戦をしていく精神です。皆さん。今こそ、世界一を目指していこうではありませんか。

世界中から投資や人材を惹きつけ、若者もお年寄りも、年齢や障害の有無にかかわらず、全ての人々が生きがいを感じ、何度でもチャンスを与えられる社会。働く女性が自らのキャリアを築き、男女が共に仕事と子育てを容易に両立できる社会。中小企業・小規模事業者が躍動し、農山漁村の豊かな資源が成長の糧となる、地域の魅力があふれる社会。そうした「あるべき社会像」を、確かな成長戦略に結び付けることによって、必ずや「強い経済」を取り戻してまいります。

同時に、中長期の財政健全化に向けてプライマリーバランスの黒字化を目指します。

■震災復興(省略) ■外交・安全保障(省略)

■おわりに

わが国が直面する最大の危機は、日本人が自信を失ってしまったことにあります。確かに、日本経済の状況は深刻であり、今日明日で解決できるような簡単な問題ではありません。

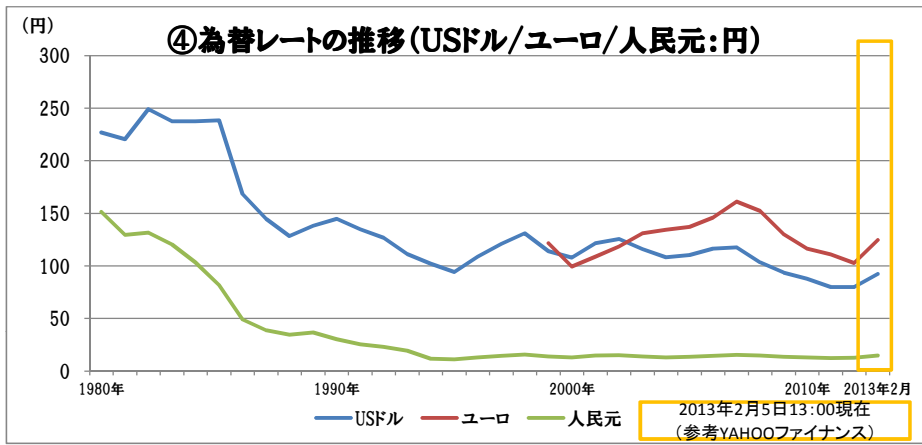
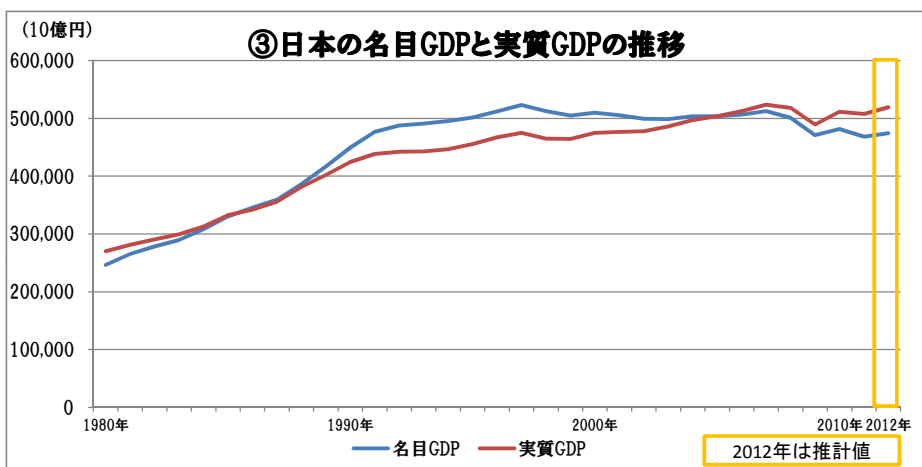
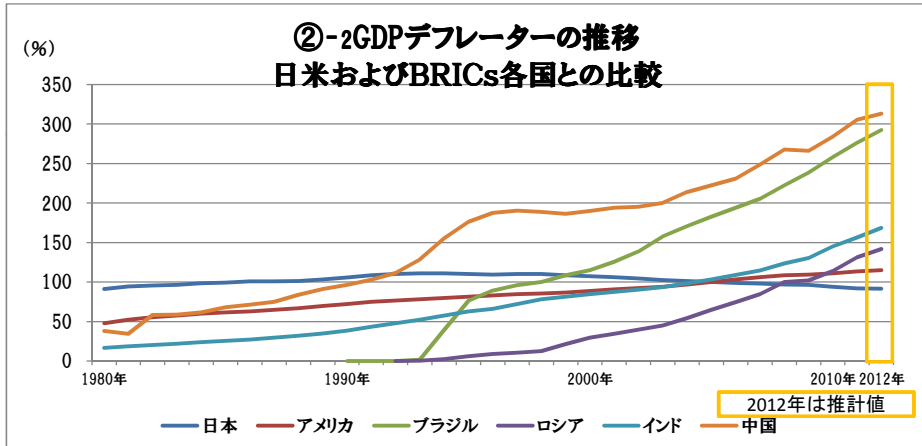
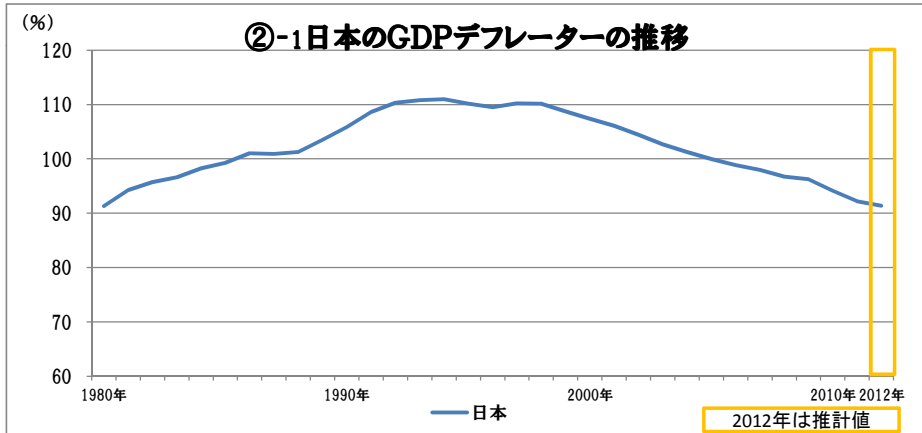
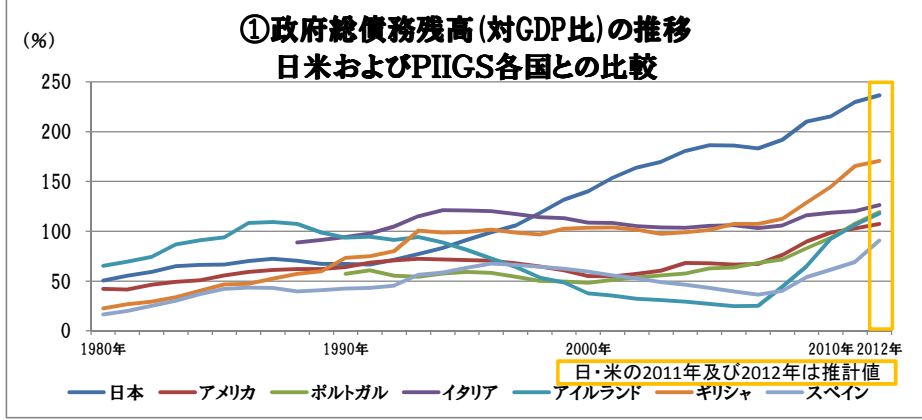
しかし、「自らの力で成長していこう」という気概を失ってしまえば、個人も、国家も、明るい将来を切り拓くことはできません。

(省略)

この演説をお聴きの国民一人ひとりへ訴えます。何よりも、自らへの誇りと自信を取り戻そうではありませんか。私たちも、そして日本も、日々、自らの中に眠っている新しい力を見いだして、これからも成長していくことができるはずです。今ここにある危機を突破し、未来を切り拓いていく覚悟を共に分かち合おうではありませんか。

「強い日本」を創るのは、他の誰でもありません。私たち自身です。

ご清聴ありがとうございました。



—経済3団体、賀詞交歓会— “再生元年”民間主導で

2013年1月8日
J-Net21【中小企業ニュース】より転載
[http://j-net21.smrj.go.jp/watch/news_tyus/]

経団連、日本商工会議所、経済同友会による新年合同祝賀パーティーが7日、都内で開かれた。株・円安が進み、本格的な経済再生への期待感から、会場には昨年を1割上回る約1700人が詰めかけた。欧州の債務不安や尖閣諸島問題による対中関係の悪化という不安材料を抱えているものの、新政権の大胆な金融緩和や柔軟な財政出動への期待は大きく、早期の景気回復を求める声も寄せられた。

3団体を代表して挨拶した同友会の長谷川閑史代表幹事は「日本経済にとって、今年が“再生元年”。民間こそが成長へのけん引役を担う必要がある」と述べ、民間主導による経済成長の重要性を強調し

来賓として招かれた安倍晋三首相は「経済再生が最優先課題」として、デフレ脱却と景気回復を最重点課題に位置づけることを改めて表明。モノづくりの復活やサービス産業の活性化にも言及し、産官民が一体となった経済政策を推進する意向を示した。

パーティー終了後、記者会見した経団連の米倉弘昌会長は「政府には規制緩和やイノベーション促進を求めるが、企業自らが産業競争力を高める必要がある」と語った。

また、日商の岡村正会頭は望むべき株価や為替水準について「株価は1万2000円、為替は1ドル=85~90円」と指摘した。



経済同友会 長谷川 閑史 代表幹事
日本経済団体連合会 米倉 弘昌 会長
日本商工会議所 岡村 正 会頭